

分類：医療・社会・行動科学Ⅱ

授業科目名：地域医療・コミュニケーションとチーム医療（Community Medicine）

対象学年：2年次必修

時間割コード：71583004

開設学期等：第33週～第33週

単位数：1

### 1. 主任教員

長谷川仁志（教授、医学教育学講座、6097）

### 2. 担当教員

長谷川仁志（教授、医学教育学講座、6097）

岡崎三枝子（講師、総合臨床教育研修センター）

南園佐知子（非常勤講師、NTT東日本健康管理センター）

伊藤伸一（非常勤講師、伊藤医院 院長、秋田県医師会副会長）

市原利晃（非常勤講師、秋田往診クリニック理事長）

蓮沼直子（非常勤講師、広島大学医学部附属医学教育センター教授）

赤嶺陽子（非常勤講師、大阪市立総合医療センター小児集中治療部）

### 3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

これからの高齢社会では、患者さんにとって心身ともに切れ目なく安心して医療を受けられるような地域医療連携が必須である。本プログラムでは、地域医療の意義と魅力および現状と課題を学ぶ。その際にどのような分野の医師にとっても、大切な地域医療連携・プライマリケアを実践できる基本的診療能力と、地域包括ケア・地域医療連携の様々な課題を解決していく全人的医療実践能力、各種チーム医療を向上するためのチームビルディングのためのノンテクニカルスキルの重要性や医療行動科学について事例ベースで検討し理解する。さらに、医療充実に重要な医師のキャリア形成について考える。

アクティブラーニングの過程で、プロフェッショナリズム、コミュニケーション力、問題解決力、医療行動科学、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての実践的能力を高める。

#### 学修目標

1. 地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。（4-7～4-8、3-7）
2. 医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。（3-7、4-7～4-8）
3. 地域包括ケアシステムの概念を理解し、多職種連携の重要性を説明できる。（2-6、3-7、4-7～4-8）
4. かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-7～4-8）
5. 医師会の役割を説明できる。（1-1～1-2、3-4～3-7、4-7～4-8、6-1～6-2）
6. 死生観と診療について説明できる。（1-1～1-2、2-1～2-8、4-1～4-8）
7. ACP(Advanced Care Planning) について説明できる。（1-1～1-2、2-1～2-8、4-1～4-8）
8. 主要41症候に対するプライマリケア診療実践力修得のために、医療面接に加えて心電図、聴診による臨床推論を説明できる。（3-1～3-6、4-1～4-6、6-1～6-2、5-1～5-5）
9. これからの医師のキャリア・男女共同参画について説明できる。（3-7、2-2、4-7～4-8、5-5）
10. 本領域と関連したプロフェッショナリズム、コミュニケーション力、問題解決力、医療行動科学、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度について理解し、今後の学修と結びつけることができる。（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-1～4-8、5-1～5-5、6-1～6-2）

#### 4. 教科書・参考書

##### 参考書

- ・地域医療学入門（日本医学教育学会地域医療教育委員会）

#### 5. 成績評価の方法

出席状況・態度、グループ学習状況、発表状況・態度、レポート提出、統一試験

#### 6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である。

| 講義内容・具体的到達目標・学修目標 |              |         |            |  |               |  |
|-------------------|--------------|---------|------------|--|---------------|--|
|                   | 開講月日         | 時限      | 授業形式       | 講義内容・具体的到達目標・学修目標  | 担当教員          | 場所                                     |
| 1                 | 1月6日<br>(月)  | 1-10 時限 | グループ<br>学習 | テーマ：医師のキャリア形成・男女共同参画 1<br>いくつかのロールモデルを参考に、これからの医師のキャリア形成・男女共同参画について、各種制度活用も含めて事例ベースのPBL形式で学ぶ。  | 岡崎三枝子<br>蓮沼直子 | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室、<br>チュートリ<br>アル室 |
| 2                 | 1月7日<br>(火)  | 1-6 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：医師のキャリア形成・男女共同参画 2<br>キャリア形成におけるジェンダーバイアスについて、社会学の分野で研究・証明されている事象について解説し、学生時代から認識することを目的とする。事例ベースにPBL形式で検討する。                    | 岡崎三枝子<br>赤嶺陽子 | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室、<br>チュートリ<br>アル室 |
| 3                 | 1月7日<br>(火)  | 7-10 時限 | 講義         | テーマ：医師のキャリア形成・男女共同参画 3<br>キャリア形成におけるジェンダーバイアスについて、社会学の分野で研究・証明されている事象について解説し、学生時代から認識することを目的とする。事例ベースにPBL形式で検討する。                    | 岡崎三枝子         | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室                  |
| 4                 | 1月8日<br>(水)  | 1-2 時限  | 講義         | テーマ：地域医療学・行動医療科学・地域医療とコミュニケーション<br>地域社会における医療の状況、医師の偏在や、医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想等について学ぶ。             | 南園佐知子         | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室                  |
| 5                 | 1月8日<br>(水)  | 3-4 時限  | 講義         | テーマ：地域医療学・行動医療科学・地域医療とコミュニケーション<br>在宅医療の実際と多職種連携に関する講義で、医療や介護に携わる多職種が話し合う医療と介護関係者の顔の見える関係の構築により、療養者及びその家族のQOLの向上につながると取り組みについて学ぶ。    | 伊藤伸一          | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室                  |
| 6                 | 1月8日<br>(水)  | 5-10 時限 | グループ<br>学習 | テーマ：プライマリケアの意義、臨床推論の手法を修得する【臨床推論2】<br>何科の医師にとっても重要なプライマリケア心電図等の判読と臨床推論ポイントについて学ぶ。  | 長谷川仁志         | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室                  |
| 7                 | 1月9日<br>(木)  | 1-4 時限  | 講義         | テーマ：プライマリケアの意義、臨床推論の手法を修得する【臨床推論2】<br>何科の医師にとっても重要なプライマリケア心電図等の判読と臨床推論ポイントについて学ぶ。  | 長谷川仁志         | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室                  |
| 8                 | 1月9日<br>(木)  | 5-10 時限 | グループ<br>学習 | テーマ：地域医療学・行動医療科学・地域医療とコミュニケーション<br>在宅医療の際に生じる様々な課題と解決策について、症例ベースにPBL形式でグループごとに検討・発表後、実際の在宅診療の医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャーからの直接の意見をもらって実践的に学ぶ。 | 市原利晃          | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室                  |
| 9                 | 1月10日<br>(金) | 1-10 時限 | 講義         | テーマ：プライマリケアの意義、臨床推論の手法を修得する【臨床推論2】<br>何科の医師にとっても重要なプライマリケア聴診等の身体診察と臨床推論ポイントについて学ぶ。   | 長谷川仁志         | 基礎講義棟<br>2階 第2<br>講義室                  |